

# 5. サステナブルな繊維へ

## 糸喜株式会社

【所在地】一宮市本町1-5-3  
【TEL】0586-71-6116  
【URL】https://itokikabu.com



【事業内容】  
インテリアを中心とした生地企画販売・  
擦糸企画販売や、海外から輸入してきた原糸  
の卸売りをしています。

大事にしている  
SDGsのゴール



### 繊維業者としてのSDGs

糸喜で主に取り扱っているのは綿とレーヨンで、8割がインドネシア・中国・タイなどからの輸入によるものです。

糸喜は現在、オーガニックコットンを積極的に取り入れる活動や、イベント会場でペットボトルを回収し、再生ポリエステル繊維によみがえらせ、それを婦人服の糸に使用する取組みを行っています。

### 浅井社長へのインタビュー

- Q.1 この会社で取り組もうとしていることは何ですか。
- A.1 海外からの輸入量をさらに増やし海外との連携を強め、生き残りを図ります。
- Q.2 この会社ならではの悩みは。
- A.2 繊維業全体がそうですが、若い担い手が入ってこないですし、特に女性は結婚を機に辞められる方が多いです。
- Q.3 SDGsの取組みについて、思いを聞かせてください。
- A.3 社会の流れとして、SDGs抜きではビジネスが行えなくなってきたということで取組みはじめ、これまで以上に取



引先との協力を深め世界中の消費者の心豊かな生活づくりに貢献していきたいという思いがあります。

しかし、SDGsの商品はまだ認知度が低く、輸入された糸の方が8割を占めているため、SDGsの商品を今後たくさんの方に知ってもらえればと思います。

### 2030年に向けた意気込み

他会社との競争に勝つため、今ある仕事を継続しつつ、海外製品輸入量の上昇を目指して海外とこれからもしっかりと連携をとっていきたくと考えています。

SDGsの終着点である2030年に向けては、過去の資産を有効に使いつつ今後も繊維業を営んでいきます。



### 一宮商業高等学校2年「コマーシャルデザイン」5班

繊維業はその地域内だけとしかあまり繋がりが無いと思っていたので、世界中との繋がりがあって驚きました。また、若手不足・SNSを活用した拡散が不十分で売上が伸びにくいことも知りました。